

一般当初予算 39億8000万円 (前年度比3.1%) など26件

弥彦村3月定例会日程・議案説明

名誉村民条例(昭和55年)休眠状態

一般質問きっかけに2氏決定

英太郎氏(新派)、鈴木力氏(洋画)

弥彦村議会は二十一日午前十時から議会運営委員会(赤川幸子委員長・委員四人)を開き、三月定例会の日程などを決めた。三月定例会は六日から二十日まで十五日間の日程で、平成三十一年度当初予算、燕市との水道事業統合に伴う条例の一部改正をはじめ、競輪事業の個別外部監査、弥彦村出身の新派俳優、故・英(はなぶさ)太郎氏ら二人の名誉村民の選定などの議案二十六件を提案する。

小林豊彦村長



弥彦村議会運営委員会

委員会には委員四人と、武石雅之議長、小林豊彦村長、山岸喜一総務課長らが出席。山岸総務課長から提出予定議案と全員協議会の協議内容、議会事務局から一般質問、議員懇談会の協議内容、会期日程などを説明し、協議した。

提出予定議案は三十一年度当初予算七件、三十一年度補正予算六件、条例千九百九十九件。関係七件、専決処分(一般会計補正予算)一件、その他五件。三十一年度当初予算は、一般会計と、国民健康保険、後期高齢者医療、豊彦村長、山岸喜一総務課長らが出席。山岸総務課長から提出予定議案と全員協議会の協議内容、議会事務局から一般質問、議員懇談会の協議内容、会期日程などを説明し、協議した。

増額などで三十一年度に比べて一億二千万円、三・一%の増。条例関係では水道事業統合に伴い、水道条例を廃止し、議会委員会条例、競輪事業、職員定数条例、公営企業の設置等に關する条例をそれぞれ一部改正する。水道料金統一時の負担増に対応するため、水道事業料金調整基金設置条例を制定する。放課後児童クラブに関する条例の一部改正で

は、現在活動していない弥彦キッズを削除する。その他は、競輪事業の個別外部監査契約に基づき監査すること、個別外部監査契約の締結、名誉村民の選定、新潟県市町村総合事務組合規約の変更。競輪事業の個別外部監査契約は、競輪事業の運営業務、出納事務等について監査委員の監査に代えて、個別外部監査契約に基づいて監査を委託するもの。二十八年三月定例会で関係条例を制定。同年六月定例会で初めて提案したところ、委託料が高額すぎるなどの反対意見が出て、賛成少数で否決。九月定例会で再提案したが、再び否決された。

同日十二月定例会からは一般会計補正予算の経営改善調査委託料として定例会ごとに提案を続けたいが、いずれも否決。昨年三月定例会まで連算で八回連続の否決となった。その後、インドの宗教指導者サイバ氏の関連団体による村有地取得問題の解決を優先して提案を見送ってきたが、一月別委員会を開く。十二日は午前十時から総務文教

九、十日は休会。十一日は本会議・総括質疑を行い、散会后、競輪特別委員会、引き続き広報特別委員会を開く。十二日は同日に午前九時から全員協議会は一日と八日、同日に午前九時から全員協議会を終了後に開き、予算審査特別委員会の設置や、三十一年度の議会行事などを協議する。委員会は十時半ごろ終了。

日程では一日目の六日、常任委員会、午後一時半は本会議を開き、提出議案の提案説明を行う。七日は休会。八日は本会議で一般質問を行う。一般質問は毎回、四人から八人の通告があるが、四月に村議選を控えるためか、今回は三人にとどまった。

4月に村議選控えて? 一般質問3氏にとどまる

日程では一日目の六日、常任委員会、午後一時半は本会議を開き、提出議案の提案説明を行う。七日は休会。八日は本会議で一般質問を行う。一般質問は毎回、四人から八人の通告があるが、四月に村議選を控えるためか、今回は三人にとどまった。十六日から十九日まで休会。最終日の二十日は本会議を開き、委員長報告に続いて採決を行う。議員懇談会は一日の全員協議会を終了後に開き、予算審査特別委員会の設置や、三十一年度の議会行事などを協議する。委員会は十時半ごろ終了。

部監査を公約の一つに掲げて再選。昨年三月定例会以来一年ぶり、個別外部監査契約としては二年半ぶりの提案に踏み切った。新潟県市町村総合事務組合規約の変更では、共定例会の一般質問で、柏木文男氏(無所属)が弥彦出身の英氏と、麓出身の洋画家鈴木力氏(新潟市の二人の選定を提案。議員提出予定議案では、陳情七件で従来通りの配布のみとした。



弥彦村議会運営委員会